



9月園だより

日中はまだまだ暑い日が続いています。大好きな水あそびが終わり、夏の疲れが出やすくなる時期です。たくさん遊んで、いっぱい食べて、そして休息を取りながら、元気に気持ち良く過ごせるように環境を整えていきたいと思ひます。



行事予定

- 16日(木) お弁当会
- 20日(月) 敬老の日
- 22日(水) お誕生会
- 23日(木) 秋分の日

※避難訓練は某日行います。

※新型コロナウイルス感染症の状況により、行事の変更、中止があります。



今月のうた

- ♪ おじいちゃんのおとし
- ♪ 肩たたき♪ でーじぬぐんかん
- ♪ おなかのへるうた



9月生まれのお友だち

ちゅういっぶ組

- かわぐち みおさん
- おろく りつきさん

ゆい組

- しげとみ ひなのさん
- しまぶくろ ひなたさん

今月のねらい

- ・身の回りのことに興味をもって自分でやろうとする。
- ・運動会に期待を持ち、友だちや保育者と一緒に体を動かすことを楽しむ。

那覇ブロック園内研修発表会

そよ風おもしろ保育園「子どもの咀嚼力を促すために保育者が出来る事」

- 一 食事における保育者の関わり方と子どもの咀嚼の着目点
- ★ 子どもの咀嚼を促す食事場面での保育者の援助

- 《咀嚼を促すスプーンの使い方》・乳児の口は小さいため、口の幅より小さくスプーンのボールが浅いものが適している。
- ・お皿から運ばれてくる食べ物が見えるように、スプーンは子どもの目線より下の方から運ぶ。
- ・口の中に食べ物が入る準備のためにも「〇〇だよ」と声をかけ、下唇にチョンチョンと合図を送り、口を開けるのを待つて唇にスプーンを乗せ、捕食するのを待つ。
- ・上唇が下りてきて食べ物をこすり取ると同時にスプーンを水平に引き抜くようにする。

《咀嚼を促す言葉かけや仕草》・「ナンナン」「カミカミ」「ホクホク」「赤い色」「緑色」「やわらかい」「丸い」など、五感を意識するような言葉かけをし、おいしさの認識を促す。

《一口量を促すための働きかけ》・スプーンで介助している場合：スプーンに乗せる一口量は多すぎないようにし、スプーンの先端に食べ物を寄せる。

- ・手づかみをしている子の場合：子どもの手首に保護者が手を添え、一口の量が口に入ったところで「かじろうね」と声をかけ、それ以上口に入れないように止める。

→この研修を受けて、子どもの咀嚼を促すために保育者が行うことで効果的なことは、スプーンの一皿量を意識しながら自分で捕食を促し、ゆっくりと食事時間を楽しむことが大切であることが分かりました。これからの保育の中で活かしていきたいと思ひます。